

25年ぶりに作業服を一新、平成28年6月より着用開始

当社では全国の社員に支給する作業服と防寒服を一新し、平成28年6月より新しい作業服の着用を開始しました。1990年以来、25年ぶりの刷新となります。

社内の検討チームと大手アパレルメーカーとで試作を繰り返し、新作業服は、それぞれ夏服と冬服の2タイプ。防寒服と同様に基本をグリーンとしながらも従来のものより明るいカラーを採用。夏場の作業を快適にするため、夏用ズボンには吸汗性と速乾性、夏用シャツは通気性と速乾性をそれぞれ併せ持った生地を採用しています。冬用作業服は従来よりもソフトで伸縮性のある生地を採用し、機能性を向上。また、現場で働く女性の増加をうけ、女性用の作業服は全て特注で作成し個人毎に気心地の良いものとなりました。

一方、平成27年11月より着用を開始した防寒服は、従来のブルゾンに新たにパンツを加え、グレーをベースにコーポレートカラーのグリーンをアクセントにデザイン。夜間作業での視認性向上を図るため反射材を配し安全性能を考慮しながら現場の要望を踏まえ、着心地や薄くて保温効果の高い中綿を採用するなど機能性を高めることで現場力のさらなる向上を図ってまいります。

